

茅ヶ崎市市民参加条例に関する WEB アンケート 調査結果

令和6年7月

茅ヶ崎市

くらし安心部市民自治推進課

アンケートの概要

●目的

平成26年に施行した茅ヶ崎市市民参加条例（以下「条例」という。）では、市は4年を超えない期間ごとに条例の施行状況の検証を行うことを定めています。

令和2年度に行った「茅ヶ崎市市民参加条例の施行状況の検証」では、大きく「市民参加条例の機会の認知度」「市民意見の取り扱い」「市民参加手続の運用」の3つの課題が導き出されました。

市では、これらの課題に対する改善施策を位置付け、市民参加の機会の情報発信、市民意見の反映状況に関する情報発信、市民参加手続の適正な運用に取り組んできました。

今回、令和6年度の条例の検証にあたって、市民の皆さまから広くご意見を伺うことを目的として、WEBアンケートを実施しました。

●対象

市内在住・在勤・在学の方、市内で事業活動を行う方、公益の増進に取り組む方、市に対し納税の義務を負う方

回答者数：116人

●期間

令和6年5月1日（水）～20日（月）

●方法

e-kanagawa 電子申請システムにより実施しました。

●調査結果の表示方法など

回答割合は、すべては百分率で表し、小数点以下第1位を四捨五入しています。このため、百分率の合計が100%にならないことがあります。

1つの質問に2つ以上回答できる「複数回答」の場合には、回答割合の合計は100%を超えることがあります。

●いただいた意見の取り扱いについて

今回いただきましたご意見は、他の市民参加の方法の結果と併せ、市民参加に関する現状の課題把握と改善施策を検討する上での資料として活用します。

今後、課題と改善施策（案）を取りまとめましたら、パブリックコメント手続等により、再度皆さまの意見をいただくことを予定しています。スケジュールについては、次のとおりです。

- ・パブリックコメント手続、パブリックコメント説明会：１２月
- ・パブリックコメント手続の結果公表：３月下旬
- ・検証結果の公表：３月下旬

【自治基本条例の検証に係る設問の取り扱いについて】

本アンケートは同時期に検証を行う自治基本条例に関するアンケートの設問を含め、一つのアンケートとして実施しました。自治基本条例に関する設問の調査結果については、「茅ヶ崎市自治基本条例無作為抽出アンケート調査結果 令和６年度実施」をご覧ください。

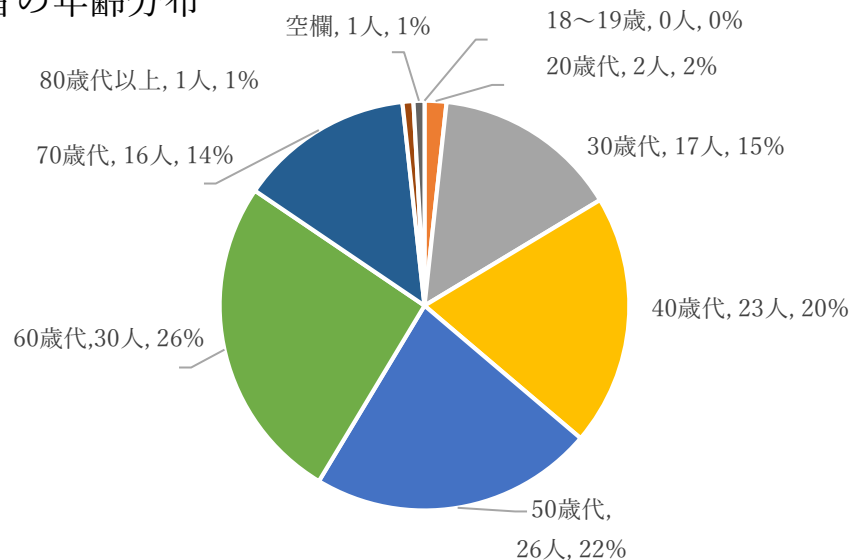
市ＨＰ：「茅ヶ崎市自治基本条例の検証」

https://www.city.chigasaki.kanagawa.jp/kikaku_sogo_plan/1038809.html

アンケート結果 (n=116)

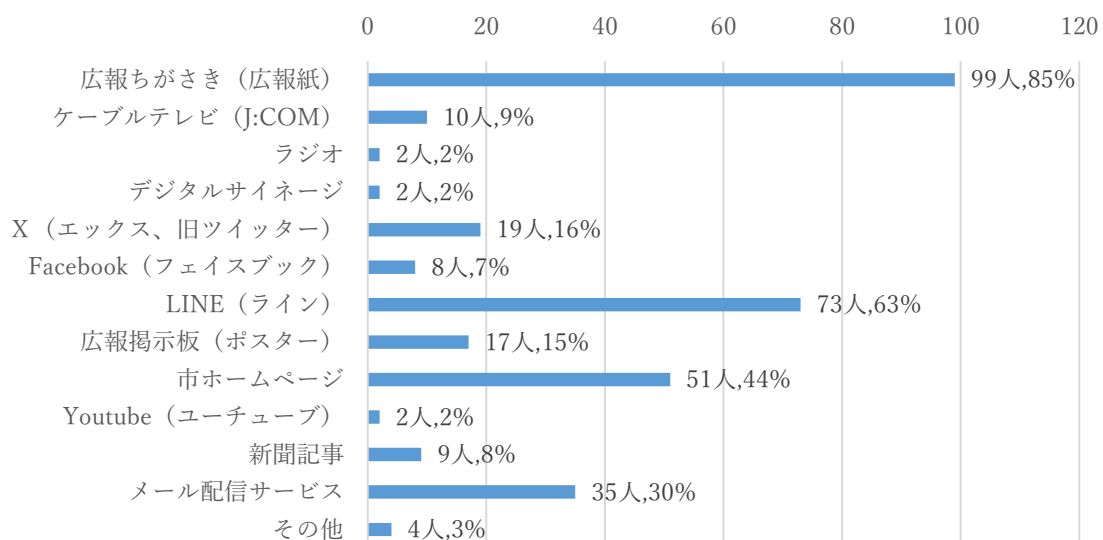
●設問1 あなたの年齢をお答えください。【1つだけ○】

回答者の年齢分布



●設問2 あなたは日頃、どのような媒体から市政に関する情報を得ていますか。【いくつでも○】

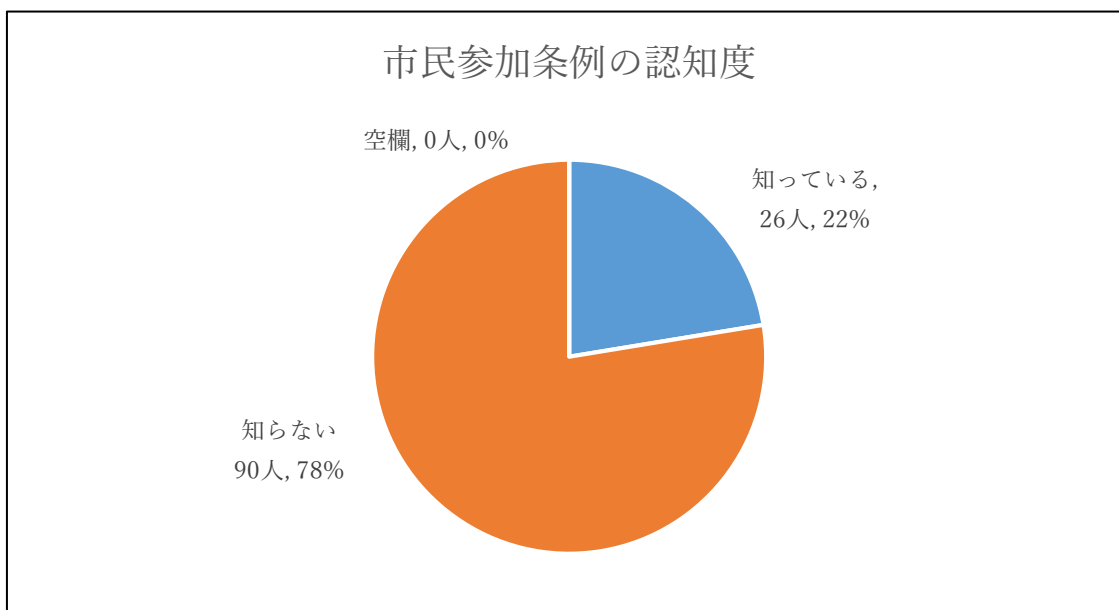
情報を得ている広報媒体



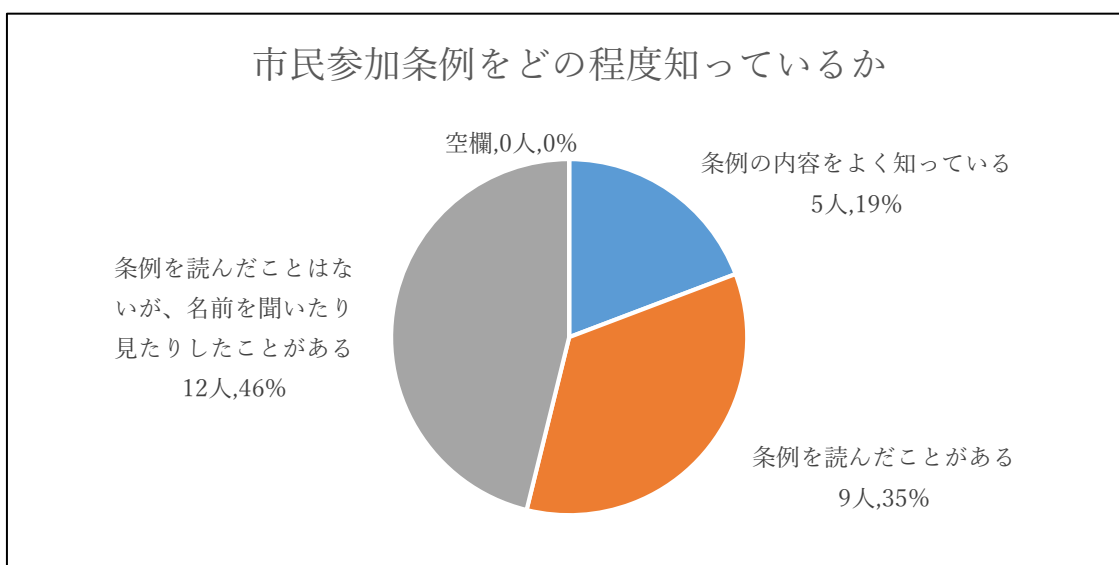
その他意見は、P. 11 「別表A」をご覧ください。

設問３～８は自治基本条例の検証に係る設問であるため省略します。結果は「茅ヶ崎市自治基本条例無作為抽出アンケート調査結果 令和６年度実施」をご覧ください。

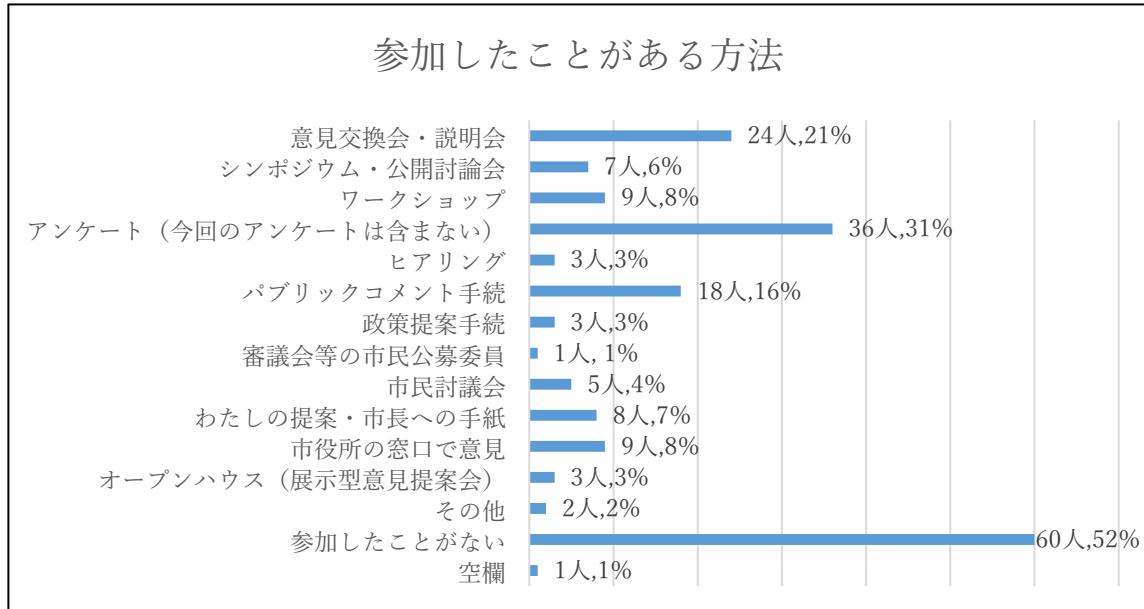
●設問９ 平成２６年度４月１日に施行された「茅ヶ崎市市民参加条例」（以下、「市民参加条例」）を知っていますか。【１つだけ○】



●設問９－１ 設問９で「１．知っている」と回答された方にお尋ねします。「茅ヶ崎市市民参加条例」をどの程度知っていますか。【１つだけ○】

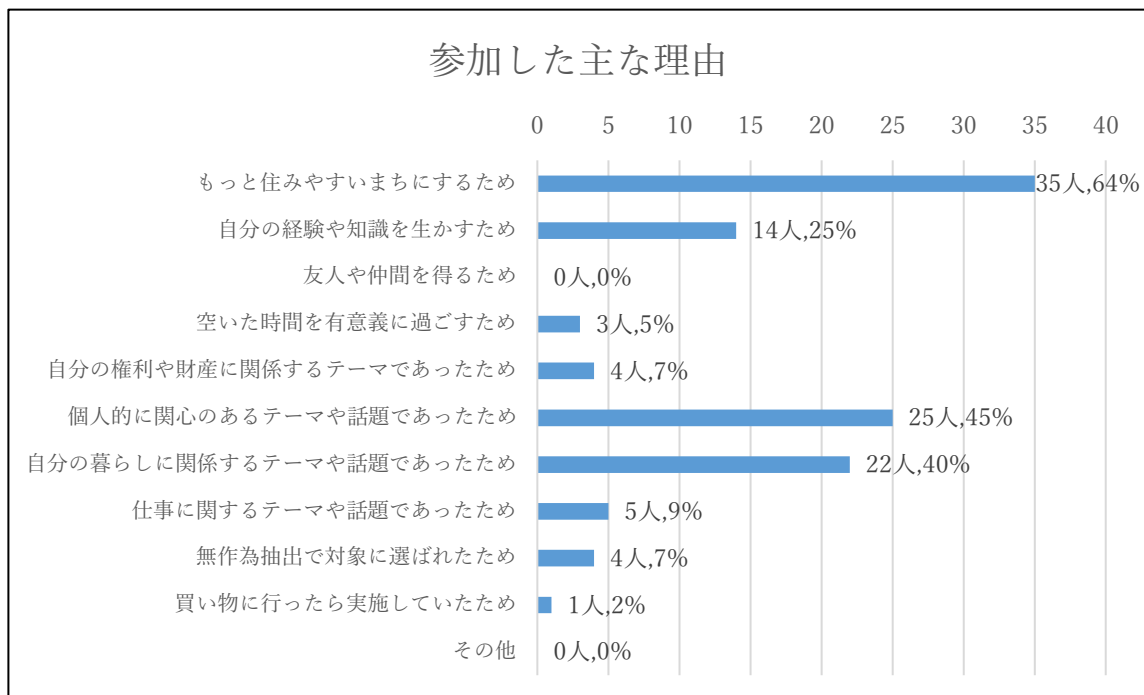


●設問 1 0 茅ヶ崎市では、皆さまのご意見を市政に反映するため、様々な方法（市民参加の方法）を活用しています。これらに参加したことがありますか。【いくつでも○】



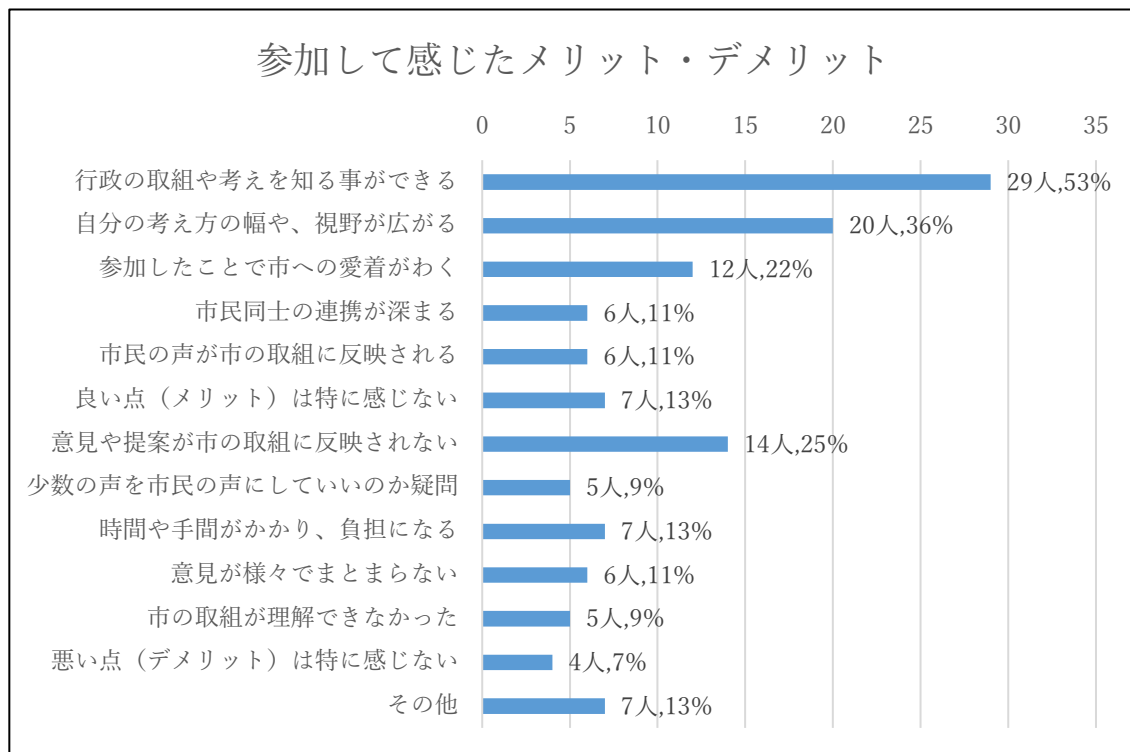
その他意見は、P. 1 1 「別表B」をご覧ください。

●設問 1 0 - 1 設問 1 0 でいずれかの方法に参加したことがあると回答した方にお尋ねします。参加した主な理由は何ですか。【いくつでも○】



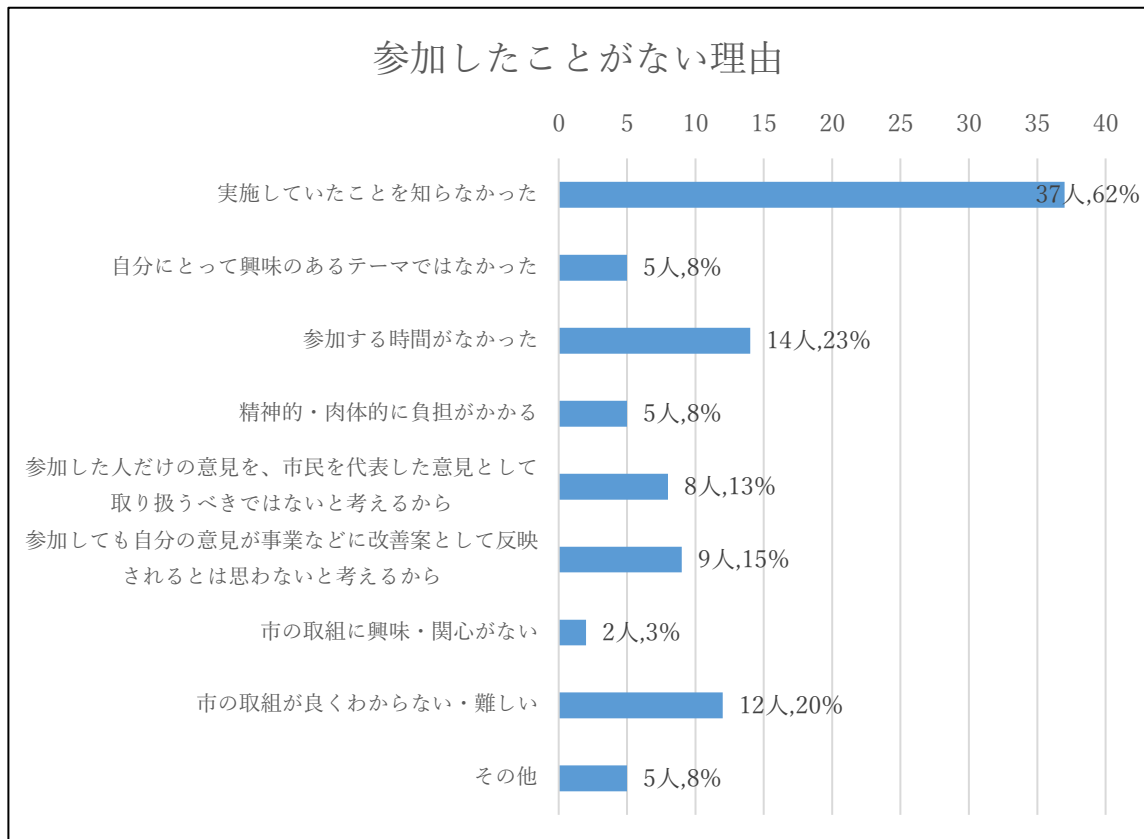
その他意見は、P. 1 1 「別表C」をご覧ください。

●設問１０－２ 設問１０でいずれかの方法に参加したことがあると回答した方にお尋ねします。参加したことで感じた、市民参加の良い点（メリット）・悪い点（デメリット）は、どのようなものですか。【いくつでも○】



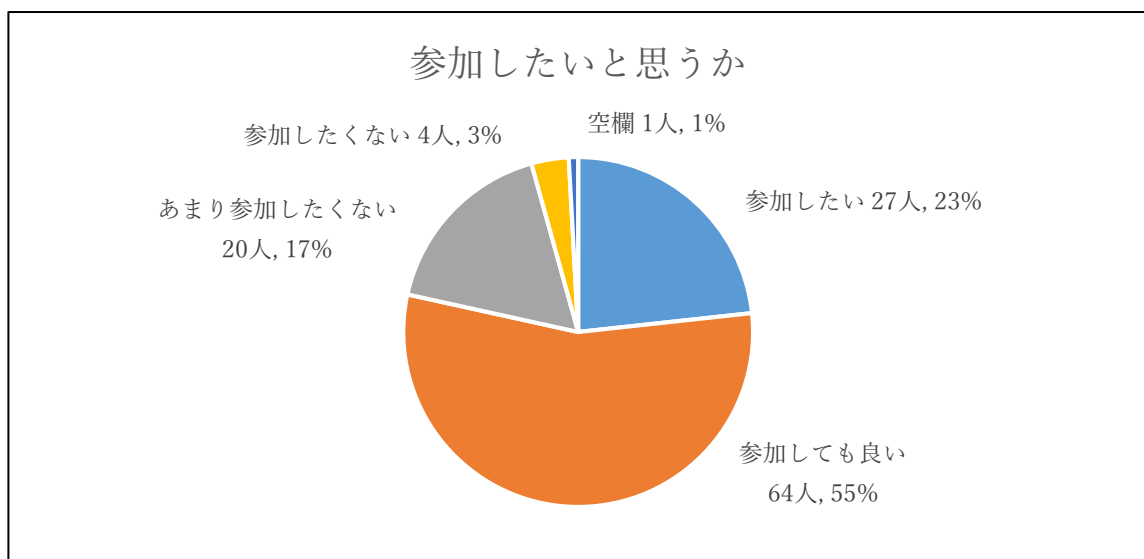
その他意見は、P. 12「別表D」をご覧ください。

●設問 10-3 設問 10 で、「参加したことがない」と回答した方にお尋ねします。その理由を教えてください。【いくつでも○】

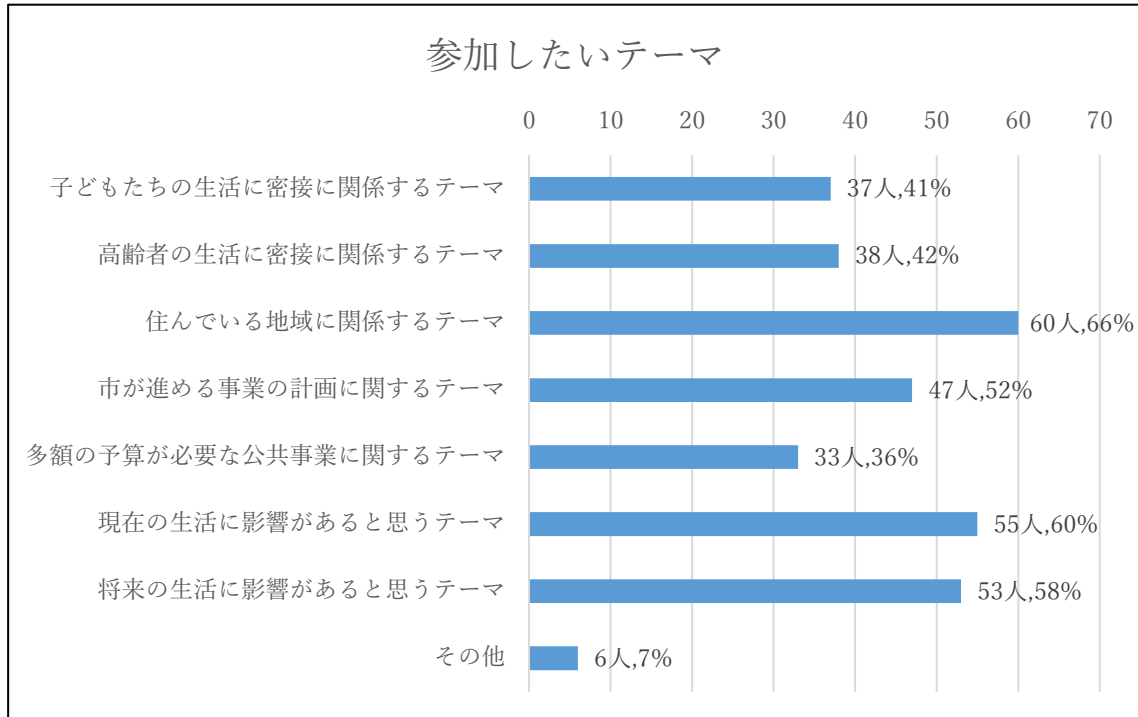


その他意見は、P. 12「別表E」をご覧ください。

●設問 11 今後、設問 10 のような市民参加の機会があれば、参加したいと思いますか。【1つだけ○】

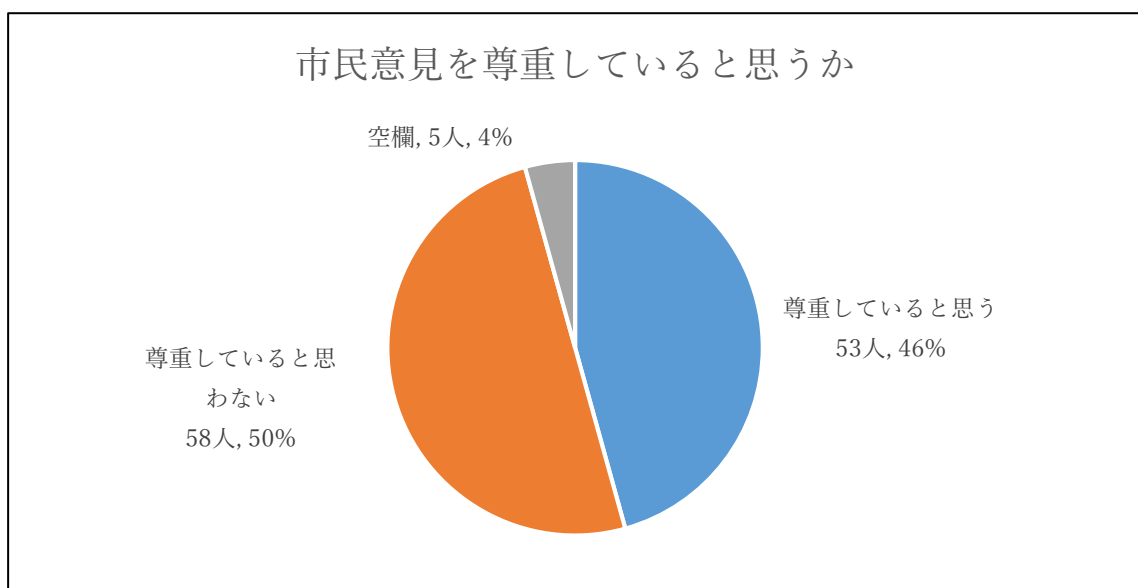


●設問 1 1－1 設問 1 1 で「参加したい」「参加しても良い」と回答した方にお尋ねします。市民参加では、どのようなテーマに参加したいと思いますか。【いくつでも○】



その他意見は、P. 1 2 「別表F」をご覧ください。

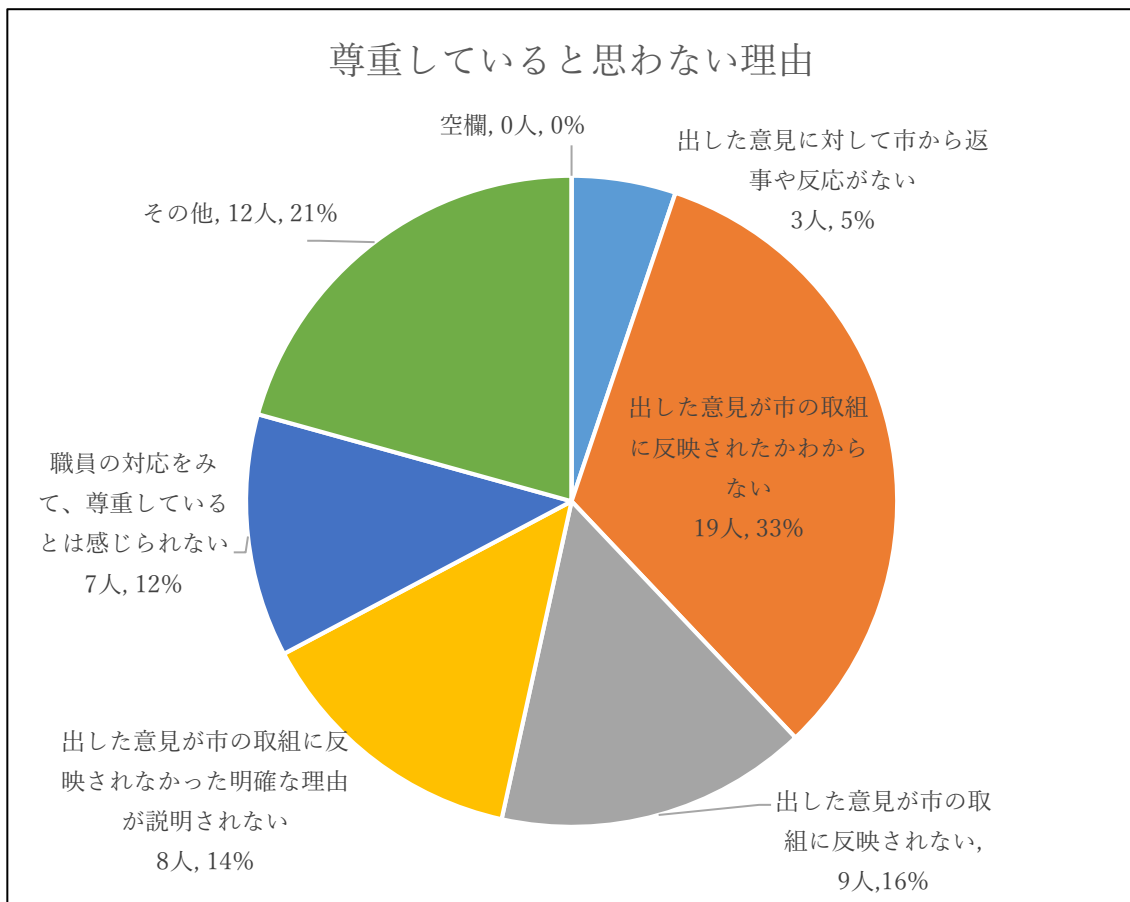
●設問 1 2 茅ヶ崎市では、市民の皆さまからいただいた意見を尊重していると思いますか。【1つだけ○】



●設問 1 2－1

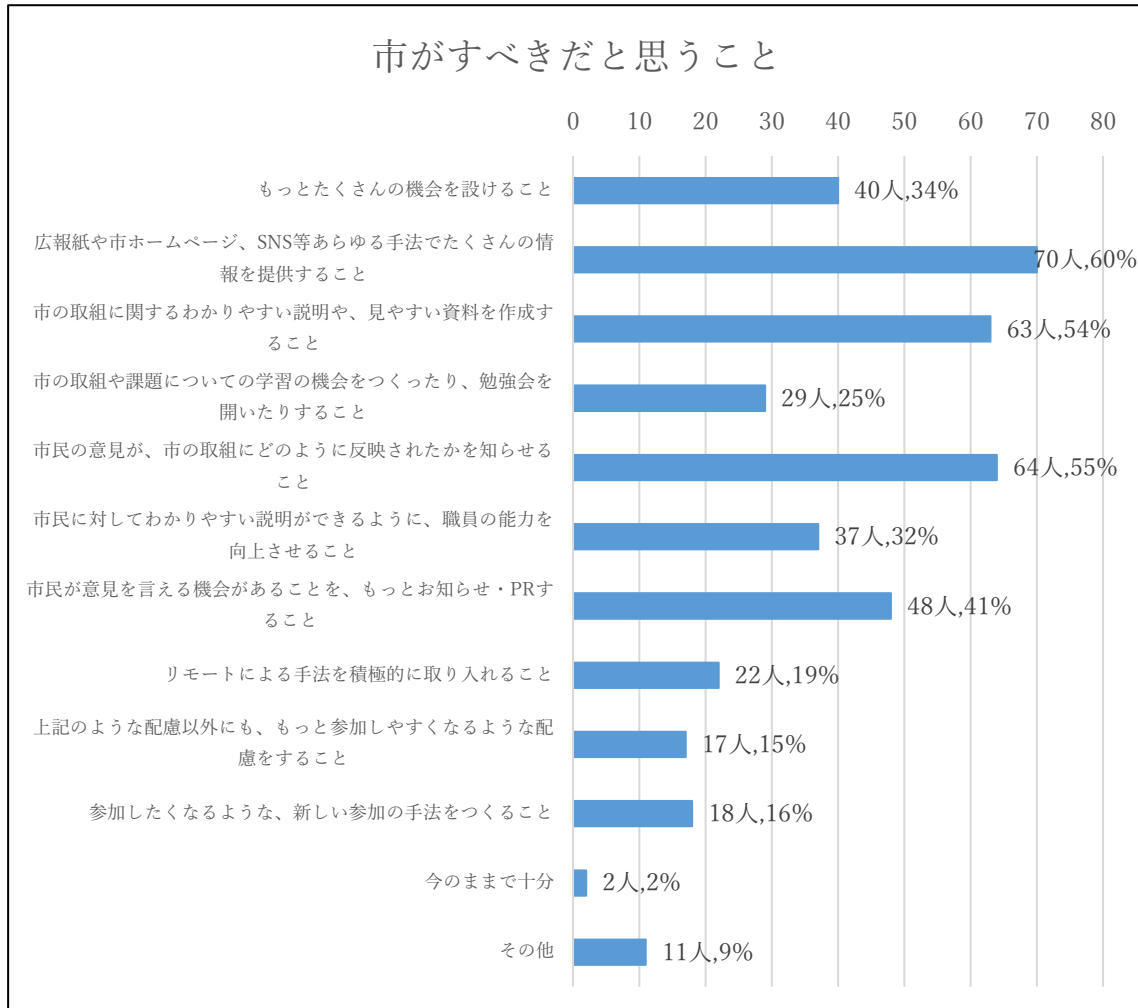
設問 1 2 で「尊重していると思わない」と回答した方にお尋ねします。

尊重していると思わない理由はどのようなものですか。【1 つだけ○】



その他意見は、P. 1 3 「別表G」をご覧ください。

- 設問 13 市民の皆さまが、設問 10 のような機会に参加しやすくなり、市に対してもっと意見を述べやすくなるために、市がすべきことはどのようなことだと思いますか。【いくつでも○】



「上記のような配慮以外にも、もっと参加しやすくなるような配慮をすること」の具体例は、P. 14 「別表H」をご覧ください。

「参加したくなるような、新しい参加の手法をつくること」の具体例は、P. 14 「別表I」をご覧ください。

その他意見は、P. 15 「別表J」をご覧ください。

- 設問 14 このほかに、市民の皆さまが市を身近に感じ、様々な意見や提案を出しやすくするために必要だと思うことがありましたら、自由にご記入ください。
設問 14 の回答は、P. 16 「別表K」をご覧ください。

別表 自由記述回答の一覧

自由記述の内容は、基本的に原文のまま記載していますが、一部の意見については、文意に留意しながら簡略化や文末形式の統一をするとともに、複数の同様意見については集約しています。なお、本アンケートの設問の主旨と直接関連のない事項については掲載を省略しています。

別表 A

設問 2 あなたは日頃、どのような媒体から市政に関する情報を得ていますか。

のその他意見

タウンニュース（2件）
ネットでの議会傍聴による議員の質問等から。
市に関わっている他の団体の方などから直接聞くことなど。
わからない点や聞きたいことは直接職員から聞く。
友人から。

別表 B

設問 10 茅ヶ崎市では、皆さまのご意見を市政に反映するため、様々な方法（市民参加の方法）を活用しています。これらに参加したことがありますか。

のその他意見

市民団体として市と協定書を結んで、特別緑地保全地区の保全を行っている。以前は、自然環境評価調査に市民として参加し、茅ヶ崎市の自然環境に対する保全のために協力をした。
--

別表 C

設問 10-1 設問 10 でいずれかの市民参加の方法に参加したことがあると回答した方にお尋ねします。参加した主な理由は、どのようなものですか。

のその他意見

行政に提案しないと、重要な課題が進展しないから。

別表D

設問 10-2 設問10でいずれかの方法に参加したことがあると回答した方にお尋ねします。参加したことで感じた、市民参加の良い点（メリット）・悪い点（デメリット）は、どのようなものですか。

のその他意見

全く効果がなかった。
市民参加をすると、職員の対応等がひどいためにストレスがたまるばかりとなる。
形だけの開催になっているのではないかと感じる
建設的な意見が集まればとても有意義だと思うが、ただの文句や愚痴ばかりが集まると、本来検討すべき事案に割く時間が減ったり、受け皿となる担当者が疲弊してしまう懸念があること。
茅ヶ崎市では、自治基本条例、市民参加条例を形式的に捉えている。市民と一緒に住みよい茅ヶ崎市をつくっていくことが感じられない。
単なる実績づくりにならないようにして欲しい。

別表E

設問 10-3 設問10で、「参加したことがない」と回答した方にお尋ねします。その理由を教えてください。

のその他意見

様々な市民参加をしてきたが、私にとってはほとんどデメリットばかりである。
意見が取り入れられている気がしないから
引っ越して来てまだ日が浅い為。
転入して間もない為

別表F

設問 11-1 設問11で「参加したい」「参加しても良い」と回答した方にお尋ねします。市民参加では、どのようなテーマに参加したいと思いますか。

のその他意見

一部の芸能人にたよらない地域のアピール方法の模索。
SDGs、環境保護とエネルギー対策
茅ヶ崎は特に障がい者の地域参加に力に取り組んでいる地域だと思います。ですが、それは身体や知的の方のみで、精神に対してはあまり深く関わろうとしていないように思えます。精神障がい者当事者として、そのような市民参加が多く開かれれば嬉しいです。

総合計画の意味を一緒に討議していき。総合計画をやめる。
財政、環境問題

別表 G

設問 1 2－1 設問 1 2 で「尊重していると思わない」と回答した方にお尋ねします。尊重していると思わない理由はどのようなものですか。

のその他意見

出した意見(市立病院看護師への管理職対応)に対応しますと言われた。直接面接もして頂いたのに、悪化の一方。
前回のパブリックコメントに関する返答が逃げ腰に感じられ、なおざりにされるか、いくつか実現する可能性があるとしてもスピード感がない昔ながらのお役所仕事、縦割り行政だと思いました。
職員がまずきちんと対応しようという態度がない点。
判断できないという選択肢がなかったので、やむなく選択したまでです。
他地区との税金の差も出てきている。浜見平のランチも活用出来ていないなど、ニーズを分かってやってるのか不安
パブリックコメント等個人に意見を求めても無理がある。市役所と市民はフィフティ、フィフティだから協働テーマなら参加しても良い計画
市民の意見が市政に反映されるとは思はないから
出た意見を知らないため
今まで、意見をくださいという案内をもらうことは度々ありましたが、調査結果を公表しましたというお知らせを同じ媒体でもらった記憶がありません。たまたま見た人はわざわざ結果がどうなったかを探さないで、そういえばどうなったんだろうとモヤモヤしてしまいます。結果がどうなったのかは、聞いた時と同じ方法で周知すべきではないでしょうか。
市民の意見は、反映していない。藤沢市や平塚市にくらべ、遅れている。
道路のマンホールのがたつきを直して欲しいと去年から何度も言っているのに一向に直す気配がない。
ハードウェア面ばかりが変革されて、ソフト面が追いついていない感じ。

別表 H

設問 13 市民の皆さまが、設問 10 のような機会に参加しやすくなり、市に対してもっと意見を述べやすくなるために、市がすべきことはどのようなことだと思いますか。

の「上記のような配慮以外にも、もっと参加しやすくなるような配慮をすること」の具体例

子どもの頃から市民参加することが身近なことになるように、子ども向けに学校での授業や勉強会など開催してほしい。
WEB セミナーを多く実施して欲しい。チャットが出来ると更にいいですね。
上記まちぢからと市の連携強化と自治会負担の軽減
テーマに該当する世代からランダムに選んでメールや LINE など個別に参加要請の連絡をする、呼ばれたから... という体だと参加しやすいかなと思う
これは教育目的と周知証明みたいなものだろうから、Xとかでもっとアンケート増やした方が良い。
いつでも気軽に声を届けることができる仕組み。
商店街の活性化が必要。
方法を言う前に、市職員の多くは、市民の意見を聞かないように思う。
参加し易い方法、例えば、「日時に制限を設けない。」「参加は可能な範囲で。」「知人と一緒に参加できる。」「無記名参加。」などのハードルを下げた方法も内容によっては、いいのではないのでしょうか。
アンケートで市民参加条例を「知らない」と答えているのに、市民参加条例のことを次問から聞いていくのもどうなのでしょう。
外国籍市民の方々のために外国語による案内、意見表明の手段の保証。

別表 I

設問 13 市民の皆さまが、設問 10 のような機会に参加しやすくなり、市に対してもっと意見を述べやすくなるために、市がすべきことはどのようなことだと思いますか。

の「参加したくなるような、新しい参加の手法をつくること」の具体例

市民の意見にもっと耳を傾けて変更するのもは変更すべきではないかと思います
防災についての最新情報を定期的に説明やコンサルして欲しい。例えば、2メートルの浸水から命と財産を守る為の、準備するもの、初動など具体的にケーススタディ出来るといいですね。
SNS
例えばですが、自助会のような当事者や関係者が集まれるようなお茶をしながら集まれ

るイベントなどであると嬉しいです。
子育て世代と子連れでの意見交換会など。また世代間交流が出来るように、高齢者と子育て世代の両方の意見交換会など。
商店街が活性化する事で市民同士のコミュニティ形成が生まれ、茅ヶ崎市の将来的に明るい街づくりが出来、ロコミなどによる茅ヶ崎市への移住者が増えて来る。
形式を考えず、もっと本質を考えること。
リモートでの参加やライブ配信はもちろんですが、アーカイブで視聴できるようになれば、次回からの参加を促せるのではと思います。

別表 J

設問 13 市民の皆さまが、設問 10 のような機会に参加しやすくなり、市に対してもっと意見を述べやすくなるために、市がすべきことはどのようなことだと思いますか。

の「その他」の具体例

市民の身近な課題や市民自治に関する講座等を継続的に開催する社会教育の充実が必要。公民館の主催事業のあり方やコミセンでの地域課題等の講座などを考える必要がある。市民活動サポートセンターに記載されている市民団体の活用を考える。特に分野別の地域での課題等を具体的な事例で話し合うことにより、それを市政に反映することができる。それによって、市民が学ぶことで、市民参加は充実が期待される。
意思決定のプロセスに関する詳しい情報をみられるようにしてほしい。
資料を PDF で拝見したことがあります。文字とページ数が多く途中でやめた記憶があります。必要な情報が多くあることと思いますが、完結で読みやすい資料を希望します。また、専門用語を減らし、事業に詳しくない市民でもわかりやすいといいですね。
政策の立案等にあたって示される統計的な裏付けが薄いと感じることがあります。現在の職員でアンケートを統計的に処理し（クロス分析や相関関係の有無の確認、因果関係など）数値的な根拠を用い、その根拠の意味を捉えて説明できる職員の能力を開発する必要があると思います。
このアンケートが、どのように活かされるか分からない。形式的にならないように。
市の取り組みを発信し理解を求めるだけめなく、市が市民の置かれている状況をもっと把握し理解すること。一方通行だからよくない。
市職員に直接意見を伝えることも必要だとは思いますが、住民間での意見を吸い上げるコミュニティを充実させる。

別表K

設問 1 4 市民の皆さまに市を身近に感じ、様々な意見や提案をいただくために必要だ
 と思うことがありましたら、自由にご記入ください。

幸いにも茅ヶ崎市は地元に関心の高い市民が多く、市に関する意見、PR(観光スポットや民間の店舗、施設に関する情報)等は市民が SNS で多くポストしていると思います。それらを拾い上げてビッグデータ化する、場合によってはリプライや引用リポストする等、相互のコミュニケーションを取るようにすると良いと思います。
このようなアンケートを更に具体的にまた多く実施して欲しい。
イベントばかりではなく、市の施策が具体的に市民の生活にどのように反映されているのか、それが理解されないと自分と市を結び付けることはない。これからの施策は市民に協力してもらう以外に、職員だけで解決する課題は少ないと考える。様々な市民がボランティアを行っており、それらの人が市の職員を頼れるような専門的対応ができるなどの必要性もある。
職員が市民の目線で、取り組むことだと思います。
市民相談課に専門部署を設置し、前例がないからなんて返答がないように！ 市民相談課を PR する。
若い世代（仕事と子育てに忙しい）が市の取組に興味を持ってもらえるような、斬新な方法が何かあるといいなと思います。きっと住みやすいので不満があまりないのだろうと思いますが、未来のある若い世代の意見が多く反映される嬉しいです。
週末のイオンなど商業施設や自治体のイベントに出張して、話を聞く
自治会に年間的なテーマを提起し、定期的に内容とする情報を吸い上げる。
特に思いつきません…
市民に直接関係の有る事項等を SNS や広報で告知が有ると参加したいです。又、市の主催は敷居が高く感じるので(難しく感じる)、取っ掛かりがソフトな感じだと気軽に参加出来るのではないのでしょうか？
私は障がいの関係で、集中して文字を読むことや理解することが少し難しいです。なので、広報ちがさきを読みたいと思っても内容が頭に入らず、市民参加がどのようなことを行っているのかもわかっていません。なので、イラストや写真などをもっとたくさん増やしていただき「読みたい広報ちがさき」にしてほしいです。
市の活動をポスターやネットを使用してもっと発信した方がいい。何をしていた何が足りないのかすら伝わっていないのでは。
世間の情報で良いところを取り入れて、県内初を特別予算でいろいろやってほしいです。
高齢者でも聞ける茅ヶ崎 FM における情報発信の強化。なんなら市役所で茅ヶ崎 FM の訴求強化と、市が FM3 を安く提供するのはいかがでしょうか。

スマートフォンで回答できるアンケートであれば回答しようと思いますが、資料を読んだり、どこかに行って意見を出すタイプの方法はよほど関心が高い人でないとハードルが高いと思います。 意見を求めるのであれば、答えを求める属性によって意見の聞き方のレベルを変えるべきだと思います。具体的には、今回のようになんとなく市からお知らせを開いた人（普段から市との関りがなくてもいい人）を対象としたアンケートであれば、誰でも簡単に答えられるアンケートにすべきだと思います。 今回のアンケートでは、条例に基づく推進状況について細かく問いが設定されていますが、ブラウザバックを推奨しているように感じました。
知りたい時に SNS 等でコンタクトを取れる、各種手続きを全て電子で行えるようになると思います。その時に相手がわかる見える（実際に目で見えるわけではないです）行政になって欲しいです。
このウェブアンケートのように、隙間時間で参加できるような形にいただけると、意見も述べやすいと思います。
服部さん時代のように市長さんに直接会える機会の復活。